

## 人権同和教育委員会

### 1 研究テーマ

人権を尊重し、あらゆる人権問題を解決する意欲と実践力を身につけた児童・生徒を育てるための指導のあり方

### 2 研究課題

#### (1) 研究授業

実施期日：平成19年11月7日(水) 須坂市立小山小学校

題材名：「みんな聞いて、ぼく・私のすてきな話」

授業学級：4年東組(男子14名 女子13名 計27名) 授業者：依田 宏子教諭

#### (2) 研究の重点

部落差別をはじめ、あらゆる人権問題の解決を目指すためには、「自分を大切にする」「友だちも大切にする」といった、心の耕しが不可欠であると考え、そのために、「友だちとのかかわり合いを通して自尊感情を育てる活動はどうあったらよいか。」を研究課題として研究を進めた。

### 3 指導の実際

小山小学校では、子どもたちがかかわり合いながら活発に意見交換し、追究を深めることによって、教科・領域のねらいが達成できる授業づくりを目指している。

人とかかわり合う力を高めることは、人権同和教育が担っている大きな課題である。小山小児童の昨年度の意識調査では、「あなたは友だちが困っているときに、助けたり、はげましたりしていますか」「あなたは、相手を大切にしたい言葉遣いや行動をとっていますか」「あなたは、自分のよいところと言えますか」という人権同和教育にかかわる項目において、「とてもそう思う(できる)」と自信を持って回答できる児童の割合がやや低かった。自分に自信が持てれば、相手を大切にしたり、困っていれば手をさしのべたりできるであろう。

そこで、「友だちとのかかわり合いを通して自尊感情を育てる活動はどうあったらよいか」を研究の柱とした。

#### 研究内容

##### (1) 自尊感情のとらえ

自尊感情(セルフエスティーム)を「外見、性格、長所、短所、障害、特技など、自分のすべての要素をもとに作られる自己イメージを客観的に見て自信を持ち、自分を大切にしようと思う気持ち」ととらえる。したがって、自尊感情が高いということは、自己イメージが高く、自分は価値のある人間だと思えることができ、何か苦手なことがあっても、自分が好きで大切にしようという気持ちが強いということである。自分の良いところばかりではなく、「短所・弱点を含めて自分が好きで、大切にしたいと思うこと」が大切である。

その際、自分は自分で他人は関係ないという意識を肥大させてしまうのではなく、自他を尊重する気持ちを育てていくことが大切である。

## (2)「友だちとのかかわり合い」のとらえ

人とのかかわり合いとした場合、親や教師やかかわりのある大人、同じクラスに所属する児童や同学年・異学年の児童など、様々な対象がある。友だちとのかかわり合いとした場合にも、仲のいい普段最もかかわり合いが深い友だちもいれば、あまりかかわりのない友だちもいる。「友だち」を同じクラスに所属し、普段一緒に学校生活を送っている児童と考え、仲のいい級友も、かかわりが希薄な級友も含めて考える。

「かかわり合い」には、お互いにとってプラスになるようなかかわり合いもあれば、逆にマイナスに働くかかわり合いもある。かかわり合うときには、働きかける者とそれを受ける者がいる。

実証授業では、自分の小さい頃のエピソードの中から、「家族が大変だったこと」「苦労したこと」「心配したこと」を調べてきた子どもたちが、グループ毎に分かれて発表したり、友だちの発表を聞いて感じたことを伝えたり、友だちからのメッセージカードを読んだりする活動を行った。

十分な活動時間を保障するために60分の展開であったが、人間関係を考慮して作られた小グループの中で、安心して自己を語り、友だちの話も真剣に聞くことができた子どもたちであった。

この活動を通して、改めて、自分が大切に育てられたという思いを実感すると共に、友だちも大切に育てられたということを理解することができた。

## 4 この事例から明らかになったこと

### (1)「私の、ぼくの1/2成人式」という単元を設定したことによって

自分や友だちがかけがえのない存在であることを学ぶよい機会となった。自分が歩んできた10年間で、多くの人たちの愛情に支えられたものであり、自分が大切な存在であることや、同じように友だちも大切な存在であることを実感することができた。

### (2)子どもたちの人間関係を考慮して作った小グループで活動したことによって

温かな雰囲気の中で、安心して自己を語ることができた。互いのことに自然な姿で関心を持ち、友だちの話をも真剣に聞く姿から、互いを大切にしているという感じが伝わってきた。

## 5 来年度への課題

- ・研究テーマにある あらゆる人権問題を解決する意欲と実践力を身につけた児童・生徒 の姿を探り、どんな力がついたのかを具体的にしていく。
- ・小・中の連携をどのように図るか。中1で、揃えた学習が必要。
- ・部落差別問題を学習するときにも、コミュニケーション力・問題解決力を意識しながら進めたい。
- ・インターネット、携帯電話に関する問題について。

## 6 その他

なし

